

令和2年第5回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和2年5月26日(火)

2 招集場所 大河原町役場 第4会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 佐藤勝弘、生涯学習課長 八島良隆、学校教育専門監 山家一博

5 開 会 午後2時

6 令和2年第4回教育委員会定例会議事録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告について

なし

(2) 専決事務報告

報告第2号 専決処分の報告について

令和2年度大河原町一般会計補正予算

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

一 盃 森 委 員 | 大河原小学校に行ってみた。消耗品費の中で掃除用具、モップ、クイックルワイパー等が必要であると意見を聞いた。

教育総務課長 | 各校により、クイックルワイパーも発注済であり納品されているところもある。

8 議 事

議案第15号 大河原町学校給食運営審議会委員の任命について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

議案第 16 号 大河原町スポーツ推進協力委員の委嘱について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長（委員全員に諮って）承認する。

9 その他

(1) 教育長報告

1 学力向上

三冊の文献について

(1) 「勉強するのはなんのため？」『本当の「頭のよさ」ってなんだろう？』（齋藤孝）

中学生や小学高学年向けの本。なぜ、勉強をするのかと疑問をもった子に読んでほしい。社会人になると頭のよさを図る物差しが変わる。頭のよさが大人になると変わるのでやる気がでてくる。

(2) 『日本を滅ぼす教育論議』（岡本薫）

日本の子の思考力不足は本当にあったのか。世界的にはそうではない。

学校で学ぶことがわかる割合は七五三。高校ができた当時普通科への 20%しか進学しなかった。現在は、7割の子供が普通科に行っている。協調性、掃除当番、班、日本独自の特別活動が世界的にみて優れている。運動会などの特別活動で培われている。医学部教授の多くは自ら患者を診てきた医師であるが、教員養成大学は、生徒を教えたことがない教授が教員養成をしている。

(3) 『学級づくりで鍛える』（野口芳宏）

週案は後からの記録になって嫌になる。校長の話をもメモしておく、校長の経営理念がわかってくる。学級通信がより重要になってくるのではないかと。保護者にとって身近な存在になる架け橋になるのでは。通信所の所見。所見を書くのが楽しい。学級担任なら子供のことを分かっている。

2 防災教育

(1) 「岩手、北海道津波最大 30 釐」

河北新報掲載。北海道が大きな津波になるだろう。今後起きる地震に備えて、防災副読本を活用して欲しいと話した。

(2) 「主体的に考え、判断し、行動する力を育てる」（大木聖子）

子ども達に指導しに行くと、自分たちにとって一番大切なことはなにか。

地域、学校で防災の分担が大切である。大中防災、南小おやじの会、金中の金未来隊など各地域での活躍が防災意識の高まりにつながるのではないかと。

3 いじめ問題

事実をとらえて、自分の判断を交えないこと。文章を書くときも、客観的事実はよいが、主観的な意見は交えない。

4 教育事務所から

例年通り、

(1) 校長・副校長・教頭候補者選考について

(2) 令和2年度指導主事学校訪問について

D訪問を2回要請している。先生がたの指導力を高めようとしている。

1学期はコロナで延期になった。

(3) 令和3年度宮城県公立学校教員採用候補者選考

小中学校の先生になりたい人が減っており倍率が下がってきている。中高がダメなら小学校はどうですかという第2希望制度。

(4) 教員の事故防止

飲酒運転根絶の日

5 その他

5月12日一斉登校日。部活動のみ、小学校地区ごと。子供達は静かに登校していた。南小学校の平間教諭が試験的にオンライン朝の会。電子で学校と家庭をつなぐことが必要と考えている。

(2) 課長報告

学校再開について

長期休業の短縮、主催行事の中止等について

一 盃 森 委 員 | 臨時の休業続いた中で、先生方は通常勤務をしていたと思うので、休業日の配慮をして欲しい。先生たちのメンタルについても配慮をして欲しい。子どもたちが下校してからの消毒が先生たちだけでなく、ボランティアなどを活用してほしい。長期休業については、学校管理規則に定められているが、手続きは必要なのか。

教 育 長 | 消毒作業、PTA、地域の方にきていただいて手伝いをさせていただくことはよいこと。

教育総務課長 | 校長があらかじめ届けて、期間を変更する。

小 山 委 員 | 授業時数の確保について

教 育 長 | 中学年、低学年は5時間を6時間にしたり、過度な7時間授業や土曜授業を

小山委員

すると教員に週休日の振替を与えなくなるとはいけなくなり、やらない。

舟山委員

昨日の半日の学校登校には、疲れていた。教員、子供達も疲弊しているところでの再開に配慮をして欲しい。

教育長

行事が中止になっているが、文化祭や遠足は中止か。

1学期の行事は中止になっているが、修学旅行はギリギリまで結論を待っている。

今年度の学校水泳授業の取扱いについて

一盃森委員

プール開放については、熱中症対策のために、暑くて入ることができなかったが。

小山委員

中学校のプール開放がメールで開放通知できないか。

教育総務課長

確認する。

学校給食費減額事業（案）について

教育長

第1弾クオカード、第2弾が給食費の減額。町での経済活性化、家庭支援を行った。

教育総務課長

生涯学習課長

山家専門監 教職員の働き方改革について

小山委員

教員が素敵な仕事なんだという感じで、いいひとになって欲しいと思う。

山家専門監

事務量の削減がいいと思う。

一盃森委員

コミュニティスクールを進めていく中で、地域と学校のつながりが大切。先生はそもそも休みが取れない。部活もあるので。

リフレッシュ休暇が先生にはある。ちゃんととっていた。年休も割り振れば取ることができる。小学校はなかなか、難しい。いろいろなところで改革が必要。

舟山委員

タブレットはいつ配布されるのか。先生たちもパターンを身に付けると働き方改革につながるのではないか。早期に構築されてきて、授業の共有ができて、負担軽減になるのではないのか。

教育総務課長

タブレット 1300 台配置予定。3分の2人分。

丹羽委員

オンライン朝の会はどこの学校でもやっているのか。

教育総務課長

南小学校の6年生で各家庭で環境が整っている家庭のみ。

舟山委員

機械を前にした授業ばかりでは、低学年は喧嘩をしたりして人間関係を学ぶ機会が減っていくので、大人になってどうなるのか

教 育 長 | 基本は集団学習。集団で学ばないと、学べない、身につかないものがたくさんある。個別に分かれて学習した方が効率的、興味、対象が異なる調べ学習などにはタブレットの利用が効果的。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 次回は令和2年6月12日（金）午後2時から定例会を開催する。

11 閉会宣言 午後4時15分

令和2年6月12日

署名委員

署名委員